クリエイティブ京都M&T

Sep. 2006
09
No. 015

Management & Technology for Creative Kyoto　がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

CONTENTS

トップインタビュー …… 1 ▶ 2
企業紹介 …… 3 ▶ 4
起業家フォーラム・起業家セミナーご案内 …… 5
京都ビジネスパートナー交流会2007 …… 6
講演と交流のつどい …… 7 ▶ 8
産学公連携 …… 9 ▶ 10
設備貸与制度 …… 11 ▶ 12
受発注コーナー …… 13 ▶ 14
京都発！我が社の強み …… 15
ISO14001セミナー …… 16
けいはんな技術交流会 …… 17
研究報告から …… 18 ▶ 19
技術トレンド情報 …… 20
経済指標 …… 21 ▶ 22
行事予定表 …… 23

京都府産業支援センター http://kyoto-isc.jp/
財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

「伝統と革新」を理念に香文化を提案しつづける

財団法人京都産業21では、京都府内に本社を置き、国内外でご活躍されている企業トップの方々を理事にお迎えして、培ってこられた経験と斬新なアイデアをヒントに、京都産業の振興と発展に役立てるさまざまな活動を行っています。
今回は、創業300年を迎えた「香」の老舗、株式会社松栄堂 代表取締役社長の畑 正高氏のお話しを伺いました。

（株）松栄堂
畑 正高 氏

プロフィール

昭和29年生まれ、同志社大学商学部卒業後、渡英。
昭和52年、松栄堂に入社。
平成10年、代表取締役社長に就任。
社業に加えて地元京都での経済活動や環境省「香り風景100選」選考委員、京都府教育委員などの公職、同志社女子大学非常勤講師、香道志野流松隠会理事を務めるほか、香文化普及発展のため国内外での講演・文化活動にも意欲的に取り組む。

●事業の概要について

当社の属する業界としては全国薫物線香組合協議会という集まりがありますが、ほとんどが線香のメーカーです。京都は線香だけをとらえると、全国的にみて生産量は極めて少ない状況です。その状況下で、当社は、線香だけでなく薫物（たきもの）すべて、「香百般」にお応えしています。幅広い製品を原材料の調達から製造、小売まで行っている点では他のメーカーに比べて特異な存在であると思います。たくさんの人たちが段階的に携わる一連のモノの製造・流通を自社独自で行っていることは、非常に楽しい仕事と感じています。

販売先は一般消費者が大半を占め、そのほかは寺院、茶道、香道関係、そして飲食店、旅館などの業務用ユースです。原材料にこだわり、品質の高いものを作ってきたことが、プロフェショナルユーザーである寺院関係などから、水紋が広がるように一般消費者に愛用されるようになってきたと思います。

●創業300年の歴史やこれまでの歩みをふり返って

宝永2年（1705年）にこの地で暖簾を掲げたわけですが、私の父やその先代やそれぞれの時代に事業に対する思いや、工夫がありました。とくに戦前から戦後においては、原材料が配給制度になったことや、ぜいたく品として物品税という税金がかけられていたことがあります。京都の織物や染め物などは、日常の生活必需品として認定されているのに、当社の匂い袋は消費税が設けられるまで、物品税がかかり続けました。物品税という税金の事務処理が、この小さな会社の中でひとつの業務になっており、その仕事だけは絶対に私の両親が自分たちでやらないといけない仕事としていました。国税局への説明が自分たちでできなければ、どんなに普段仕事を積み重ねてきても、ひとつ指摘を受けることで、すべてが誤解されてしまうことになります。そういうことは、障害になっているとか、発展を阻害したとかをいいだすとすべてそういう見方ができるのですが、逆にそういう枠の中にいたことが、当社の体質をつくってくれたと感じることがたくさんあります。それぞれの時代にポジティブに真摯にものごとに向き合ってきた結果だと思います。

そういう中で、背骨のように通っていることが二つあります。ひとつは、「香り」というのは当社が突然300年前に提案したわけではなく、もっと古くから、人間の五感のうちのひとつに関わり続けるものです。そして、仏教とともに日本に紹介された「香」というものに対して1400年程経た今も、多くの愛好家、ユーザーがいるということです。香の素材は日本ではひとつも採れません。ずっと輸入を続けてきて、これからも原材料を輸入しなければ供給できないのです。どんな時代であっても海外から供給される香料を手元にもって、香りを楽しみ続けていたいというユーザーがいる証拠なのです。その普遍的な価値はなくなるはずもなければ、他のものに負けるものでもないと思っています。私だけではなく、代々私の先達の世代もこのことを信じて、間違いのないモノを提供してきたのです。

もうひとつは、世の中の変化やトラブルがあっても先祖代々受け継がれてきた家業を汚すようなことだけは間違ってもしてはならないというプライド、誇りだと思います。その二つが常に事業の支えになってくれていると思います。

●新しい事業展開への取り組み

幕末から明治・大正にかけて、松栄堂にとって厳しい時代がありました。養子をもらって次の代が続いたというようなことが2～3代ぐらい続きました。どんなことがあっても家業を継承していかなければならないという伝統に対する誇りが強かったのだと思います。

そういう状況の中で、明治30年にシカゴ万国博覧会に出展し、対米輸出を始めたのは進取の気鋭があった、ということが今になって見えるのです。

昭和17年に有限会社を設立しました。京都の他の会社を見ても、世界大戦の最中に法人化している会社がたくさんあります。やはり、事業を継続させる条件を整えるために知恵を絞り、いろんな人のアドバイスの中で新しい時代に対応していこうという思いがあったのです。

現在の長岡京工場（平成14年ISO14001認証取得）は、もとは倉庫として建設しました。昭和54年にその倉庫を建てたときには、京都にも1社しか導入されていなかった最新の設備を導入しています。当時、当社の売上げはたいして大きくもなく、そのような倉庫をつくってしまう当時のブレーンの発想の大きさ、先を見る姿勢を大事にしていかなければと思っています。

平成元年にはインセンスを取り扱う「リスン事業部」を立ち上げました。香は伝統的な既成イメージがあり、新しいマーケットを創っていくには、新しい言葉が必要です。次の世代に既成概念にとらわれず日常生活に香りを取り込んで欲しいと思い、「インセンス」と「香」をそれぞれ異なる世界として育てて生きたいと考えています。

●経営理念について

経営には常に伝統と革新がつきまといます。伝統と革新は紙の表裏のようなものです。両方があって紙が存在しているのです。伝統と革新は常に背中あわせで存在するからひとつのものです。私たち自身が常に伝統と革新を実践しているわけです。要は何が大事かというと伝統と革新のそれぞれの両極の「核」にこだわることが大事なのです。わたしたちは「日本の香り」というテーマの中でこの二つにこだわっています。

●今後の経営戦略について

企業活動とは水面に石を投げ、その波紋を楽しむものであると考えています。いつでも私たちが手にすることができる石を集めて、自分たちのペースで投げているだけです。それをすることが当社の存在だと思っています。今後その石を派手にまいて驚かせようということもありません。その石の投げ方は絶対他のひとには真似ができないものだと思っています。その波紋が大きく広がっていくことを期待しています。私たちが先輩から引き継いだノウハウに私たちの知恵を織り込んで自分たちが一番楽しんでやっているから、おもしろいと思っていただける顧客がいるという期待と自信を持っています。だから、ビジネスとして突然爆発することもないでしょうし、突然消えてなくなることもないだろうと思っています。ただ社外環境はどんどん変わりますので、それに対するさまざまな工夫は常に続けていくことが大事になってきます。

●社長の目標、抱負について

香り文化が、1400年も続いてきたという厳然とした事実があります。1400年も原材料を輸入しつづけてきたひとつの生活文化が斜陽産業と言われて、もしも消えるとするならば、それは当事者の怠慢と言わざるを得ないと思うのです。この時代にどういう価値を提供しうるか、自分なりに咀嚼（そしゃく）して表現する工夫をしなかったら20年で消えるかもしれません。自分で学び、香の世界を体系化して、次の世代の人材を育成していきたいと思っています。

●若い起業家への助言など

自分しかできないことは何なのかを見つけ、それを継続することだと思います。自分がおもしろいとか熱い思いをもっていることに関心をもってもらえたり、コストを払ってもらえたり、自分が提供できるサービスを楽しんでいただけるのなら、自信をもってレベルアップする、それが社会性だと思うのです。新人類が次の時代を創れるかどうかは、社会性の裏付けを検証し続けるかどうかなのです。新しい価値観の展開ということが社会性をおびていかなければならないのです。

●財団法人京都産業21に期待すること

京都産業21は大きな組織で、さまざまな活動を展開していますが、地域社会においては認知度が偏っていると思います。知っている方は利用もされているし、コラボレーションも盛んに行われていると思います。当社の店舗の前はたくさんの人たちが通過していきますが、お香の松栄堂ということを知らない人も多いと思います。そのために、立ち止まって店をのぞいてもらえる工夫が必要です。京都産業21は大きな事業の展開があるのですから、それを違う立場・角度の人たちが、知らない人が立ち止まっていただけるような工夫や情報発信をすることが大切だと思います。

【お問い合せ先】 （財）京都産業21 企画総務部 企画広報グループ TEL:075-315-9234 FAX:075-315-9240 E-mail:kikaku@ki21.jp

着物を通して「和」の心を伝承する

京都でもっとも歴史の深い花柳界、上七軒。その上七軒のお茶屋を改装し、新しい事業コンセプトで着物を提案する店、弓月 京店がオープンして5年目を迎え、そのユニークな事業活動が注目されています。
今回は、弓月 京店の専務取締役　野中順子さんに事業の現状と今後の計画などについてお話しを伺いました。

弓月 京店
専務取締役
野中 順子 氏

所 在 地●京都市上京区上七軒701
T　E　L●075-467-8778
F　A　X●075-467-9588
業　　態●着物（お召し）および装飾小物の製造、販売
E メール●yuzuki@grape.plala.or.jp
U　R　L●http://www.yuzuki-net.jp

◆事業の概要について

当社は、代々西陣の織物屋でした。織物に付加価値をつけたいと考え、12年前に着物をつくる会社、株式会社秦流舎を設立しました。弓月 京店はそのアンテナショップです。

事業として、着物の所有価値ではなく、着物の使用価値を提案する地道な活動を行っています。着物を問屋を流通してお客様に届ける方法では、着物の着こなしやおしゃれに関する情報、提案を届けることができません。着物を洋服と同じようにファッションとしてとらえ、使用価値をお客様にじかに提案するために、8年前東京・青山にアンテナショップ「弓月」を出店しました。多くのお客様にご支持いただきましたが、3年で契約が切れたため閉店し、当社の社長が生まれ育った上七軒にお茶屋を見つけて平成14年にオープンしました。上七軒は花街であり、お茶屋のおかみさんや芸妓さんがお座敷で着る着物姿はもちろんのこと、普段着としての着物姿を見ることができます。粋でおしゃれで街並みに馴染むセンスが、美意識の中に根づいていると思います。また、上七軒で開業したのは、京都で一番老舗の花街で着物の提案をしたいという強いこだわりがあったからです。

当初の事業計画を上回り、確かな手ごたえを感じています。そして、新たな店舗展開を視野に入れた計画を進めています。

◆事業コンセプトについて

次の世代に「和」の良さを伝えたいという強い思いがあります。衣食住の観点から、「住」はお茶屋を改造した店舗に日本の建築の良さがあります。「衣」は当店の着物ということになりますが、単に着物というだけでなく、その背景にある美意識やものを大事にする日本人の心を伝えたいと考えています。「食」に関しては、オリジナルで季節を感じていただけるようなストーリーをもったお茶菓子をお客様に楽しんでいただきたいと思い、工夫をしています。このように和の伝承を事業コンセプトにかかげています。

◆お店の空間を利用したコミュニケーションについて

この店は、もとお茶屋さんだったこともあり、日本の芸能や文

TOSE SOFTWARE
地球のココロおどらせよう
ゲームソフトから
モバイルコンテンツまで
多彩なデジタルエンターテイメントを
創造し、広く社会に貢献します。
株式会社トーセ
〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524
事 業 内 容…◎ゲームソフト企画・開発　◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営
グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA,Inc.
ホームページ　http://www.tose.co.jp/　〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

化をお客様に知っていただきたく、和にこだわったワークショップや演奏会をはじめ、お茶、お花、雅楽、狂言などいろいろな催し「いとをかし座」を行っています。また、いとをかし座では、水引の結び方、風呂敷の包み方など和の良さを再認識する講座も開催しています。『和の情報を発信する』拠点として、お客様との対話を大切にしていきたいと考えています。

◆お店の商品構成について

着物に関しては、ほとんどがお召しです。当社オリジナル、セレクトのウール、綿、麻の着物です。オリジナルの帯と錦地の帯、装飾小物は、ぞうり、バック、絹足袋、帯締め、帯留め、かんざし、扇子など一式を揃えています。各小物はそれぞれ職人さんと契約して、当社のオリジナル商品を企画開発しています。

◆お客様との対話がプロモーション活動

お客様は、おしゃれに興味がある30代、40代、50代の女性が中心です。当店の各種イベントや場づくりを通して和の提案、着物を着る生活・楽しさを伝えることによりファンを獲得していく活動が大切だと考えています。

最近では東京、横浜、名古屋をはじめ、地方からも京都へ和の買い物に来られる方が多くなっています。このようなお客様には、一般的な観光では味わえないとっておきの京都を感じていただく情報などをお知らせすることも大切なことだと考え、情報収集には常に気を配っています。

◆新しい顧客サービスの試みについて

年間を通して「一日一客」という企画を考えています。この企画の概要は、一日一組のお客様に当店の離れでお食事をしていただき、着物や装飾小物をゆっくり見ていただき和の心を感じていただきます。そして、伝統美が息づくこの上七軒界隈の散策を楽しんでいただいたり、夕食や宿泊は京都のおもてなしを満喫できるところをご紹介するというものです。今秋から1年間の予定でスタートさせます。

また、古典の「枕草子」の冒頭文を引用し、春には「あけぼの会」として着物に馴染みのない若い方たちを対象に着付け教室を、夏には「よる（夜）会」と称して、たまに着物を着る人を対象に着物で夕食を楽しむ会など、着物の初心者から熟練者まで、それぞれの着こなしレベルに合わせて楽しんでいただけるイベントを企画する予定です。

◆今後の事業計画や抱負など

この上七軒の店が軌道に乗りましたので、東京に再度情報発信のための新たな店舗の開店を検討しています。その店では着物を見てもらうということよりも、スタイルを提案する方針です。小物も含めた着物のトータルコーディネートのセンス、考え方、すなわち弓月スタイルを伝えていきたいと考えています。

【お問い合せ先】 （財）京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211 E-mail: market@ki21.jp

NISSIN

次代を築くクオリティ

私たち日進製作所は、創業以来60年にわたり、各種精密機械部品の製造を担ってきました。その歴史は更なるクオリティへの挑戦であり、過酷な条件下でも高い信頼性を今日まで守り続け、お客様が求めるニーズに対応すべく、独創性・具現化・挑戦を続けております。

豊かな社会や未来といった次代を築くために、日進製作所はクオリティをもって貢献していきます。

― 営業品目 ―
①自動車・オートバイのエンジン部品
② 精密部品（工業用ミシン部品）
③ 工作機械（竪型高速自動ホーニングマシン）

■ 超高精度穴加工機 セル型ホーニングマシン

■ ホンダ「オッデセイ」に搭載 バルブロッカーアーム

技術への挑戦は、人と未来のために
株式会社 日進製作所

〒627-0037 京都府京丹後市峰山町千歳22 TEL 0772-62-1111(代) http://www.niss in-mfg.co.jp/ e-mail:nissin-m@nissin-mfg.co.jp

起業家フォーラム2006&セミナー 開催のご案内

～夢の実現へ…起業をめざすあなた～

起業家フォーラム2006

http://www.ki21.jp/information/entre_forum/2006/index.htm

ビジネスプランをお持ちの方、起業を夢見ておられる方はふるってご参加ください。

【日　時】平成18年9月30日（土）13:30～16:00
【会　場】京都リサーチパーク1号館4階サイエンスホール
【内　容】①基調講演　13:40～
「小さくても、強いビジネスを起こそう」
～モノを言うのは、カネより知恵!～
増田 紀彦 氏
（株式会社タンク 代表取締役社長）

②講演　15:20～
「失敗しない創業のために」
～創業支援実務者の本音トーク～
坂口 俊一 氏
（京都商工会議所
中小企業経営相談センター 所長）

【定　員】100名（定員になり次第締め切らせていただきます）　【参加料】無料
＊①住所②氏名③職業④電話番号⑤FAX番号⑥メールアドレスを明記の上FAX・E-mail・電話にて下記までお申込みください。

起業家セミナー

http://www.ki21.jp/information/entre_semi/2006/index.htm

当財団では、各分野での起業をめざしている方、または創業間もない方を対象に、起業家セミナーを開催します。
ビジネス演習「バトルクレイン」により、企業経営における課題や問題点等を体験し、それらを解決するために必要なスキルや知識を学んでいただきます。さらにビジネスプランの作成方法、税務・財務や資金計画、マーケティングなど事業の立上げや経営に必要な基礎的知識と実践力を身に付けていただきます。
受講終了者は、セミナー終了後、起業に関する専門家の個別指導を受けることができます。また、京都府中小企業融資制度「創業者育成融資」の融資対象者となります。

【日　　時】平成18年10月28日（土）～12月9日（土）10:00～17:00（11月4日休講）　土曜日6回コース
【会　　場】京都府産業支援センター　5階研修室（京都市下京区中堂寺南町134）
【定　　員】30名（定員を超えた場合は書類選考により受講者を決定します）　【参加費】無料
【申込締切】平成18年10月13日（金）

【お申し込み・お問い合せ先】
（財）京都産業21 連携推進部
産学公・ベンチャー支援グループ
TEL:075-315-9425　FAX:075-314-4720
E-mail:sangaku@ki21.jp

「京都ビジネスパートナー交流会2007」出展者募集のご案内

出展申込締切日　2006年9月29日

京都府と財団法人京都産業21では、来年2月22日（木）と23日（金）の2日間にわたり、国立京都国際会館において「京都ビジネスパートナー交流会2007」を開催いたします。

現在、京都府内の中小企業のオリジナル製品、精密機械加工技術や独自技術を展示する出展企業を募集しております。

新たなビジネスパートナーの発掘や、今後の企業戦略・事業展開等に役立てていただくため、数多くの方々の幅広いご参加をお願いしたいと考えておりますので、ぜひ、ご出展ください。

申込・詳細につきましては、ホームページ（http://www.ki21.jp/bp2007/）をご覧ください。

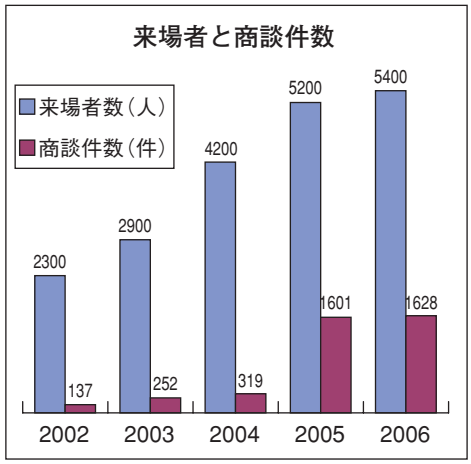
記

1　会　期　2007年2月22日（木）～23日（金）午前10時～午後5時
＊23日（金）は午後4時30分に終了いたします。

2　会　場　国立京都国際会館　イベントホール

3　出展料　Aタイプ　8万円／小間（税込）　＊角小間希望　2万円（追加）
システムパネル仕様 W3000mm×D3000mm×H2500mm
展示台1台・パイプイス2脚・蛍光灯1本
Bタイプ　4万円／小間（税込）　＊角小間希望　2万円（追加）
システムパネル仕様 W2000mm×D2000mm×H2500mm
展示台1台・パイプイス2脚・蛍光灯1本

4　主　催　京都府　財団法人京都産業21



【お問い合せ先】　（財）京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ　TEL:075-315-8590　FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

未来ってどうなっているんだろう？
空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。
私たちの仕事は電子部品というタネを、
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。
つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。
携帯電話、カーナビ、パソコン…。
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、
もう今は実現されているでしょう？
私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。
小さな部品で、エレクトロニクスの世界に
たくさんの花を咲かせていきます。

ムラタの部品（タネ）が未来を創る。

株式会社村田製作所　本社：〒617-8555京都府長岡京市東神足1丁目10番1号　お問い合わせ先：広報部　phone:075-955-6786　http://www.murata.co.jp/

Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

異業種京都会「2006講演と交流のつどい」

主催:(財)京都産業21　京都府異業種交流会連絡会議

京都府異業種交流会連絡会議(異業種京都会)第23回総会が平成18年7月28日(金)京都全日空ホテルで開催されました。また、総会に引き続き、「2006講演と交流のつどい」が開かれ、「中小企業の新展開に向けて」と題して近畿経済産業局産業部製造産業課 課長補佐 足立 光晴氏のご講演と「わが社の取り組み」と題してオプテックス(株)代表取締役 小林 徹氏のご講演をいただきました。

中小企業の新展開に向けて–技術開発施策等の活用を中心に–

近畿経済産業局
産業部製造産業課 課長補佐
足立 光晴 氏

1. 平成17年度ものづくり白書の概要(ものづくり基盤技術の振興施策)

ものづくり基盤技術振興基本法に基づく年次報告で、経済産業省、厚生労働省と文部科学省が分担して作成しています。

●製造業のイノベーション創出拠点としてのわが国の課題と展望

・わが国製造業の概況

わが国の製造業は、生産、あるいは企業収益を含めて過去最高益を更新している状況です。白書の中では、電子部品・デバイス、輸送機械等が牽引していることを示しています。中小企業の状況は、大企業に比べれば回復は遅れていますが改善している方向です。

・国際機能分業と製造業のイノベーション創出拠点としてのわが国の役割

国際分業を考えた場合、製造業はグローバル化が進んで国際分業が進んでいます。ただ研究開発は、日本が圧倒的に中核拠点となっています。わが国にとって製造業は非常に大きな位置づけをもっており、先日経済産業大臣が、国の経済財政諮問会議に提出しました新経済成長戦略の中でも、製造業の強みの伸展とサービス産業のさらなる発展により、日本の国力を上げていこうということが示されています。

・21世紀型ものづくりに向かうわが国製造業の課題と展望

21世紀型のものづくりを見ますと、環境、自然、人口減少等、危機への対応を克服することが国際競争力につながると考えられ、その取り組みが求められています。今後、特に地震などのリスクに対応する力、例えば部品や材料の調達経路について、もし何かの段階で途切れた場合の対応策の検討が求められています。

●ものづくりの基盤を支える研究開発・学習の振興

「第3期科学技術基本計画」が先般制定され、5年間で25兆円ぐらいの予算を立てる予定をしており、政府予算が縮小する中で、科学技術に対しては積極的な投資を図っていこうという姿勢です。その中でも、ものづくりを主要な4分野のひとつとして引き続き推進していきます。

2. 法律に基づく支援措置(計画認定を前提とする制度)

このような、背景の中でサポーティングインダストリーを支援する施策として、「中小ものづくり高度化法」が制定されており、これに基づく支援施策と、新連携支援について説明します。

●中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律について

中小企業が支えている基盤技術は、わが国の製造業の国際競争力の強化と次世代を担う新産業を創出すると考えられます。この基盤技術をもっている企業をさらに次の段階にステップアップさせるため、新しい技術開発に取り組むことを支援するのがこの法律の根本です。

ISHIDA
計る・包む・検査する
トータルソリューションのイシダ。
イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。

株式会社イシダ
■お問い合せは
本　　社／京都市左京区聖護院山王町44番地　〒606-8392　TEL.(075)771-4141　http://www.ishida.co.jp

●中小企業新事業活動促進法について

中小企業新事業活動促進法という新しい法律が昨年できました。新事業創出促進法、中小創造法、経営革新法を一本化したものです。そのなかに新連携という新しいキーワードが示されています。これは異業種交流でいろんな事業展開を考える中から出てきた事業をさらに一歩進めるためのもので、こうした新連携支援施策を積極的に活用していただければと思います。

わが社の取り組み―世の中にないものをつくり続ける―

オプテックス株式会社
代表取締役
小林　徹 氏

●創業への道

私は同志社大学工学部に進学し、ボート部に入部しました。しかし授業のカリキュラムがきびしく2年生の時に退部しましたが、3年の時に部員がメキシコオリンピックに出場したのです。そこで非常に悔しい挫折感を感じました。人間も生き物なのだから頭だけで生きるのではなく、細胞も生かしていく必要があるのではないかと考えたのです。落ち込んだことによって、既存の社会の価値感やお金、名誉よりも、自分がいかにビビッドに生きるかという考え方になったのです。そういうことが創業の要因になったかもしれません。

昭和54年5月、同じ思いをもった人と会社を設立しました。半年間準備を重ね創業に至りました。会社を創る底辺の部分で強い絆をつくらなくてはいけないと考え、最初に徹底的に話し合いをしました。何をテーマに事業をするかを検討して、遠赤外線技術で商品開発をすることにし、つくるのはアウトソースにお願いすることにしました。

世の中にない技術、未成熟な技術を市場に問いかけましたので、いろいろお客様からのクレームもありましたが、誠実に対応したため事業分野を拡大し今日に至っています。

●創業後の事業展開

当たり前のことをしていたら当たり前の儲けしかありません。付加価値をどうやって高めていくか、自分たちの得意技をどう高めていくかのなかで「リスク＝利益」と考えました。一番賢いリスクのかけ方は、自分たちのリスクは少ないが世間から見たらリスクが高いと思われる分野に投資をすることです。そのためにはマーケティング調査を充分に行うこが必要となり、それは自分たちの技術を精査することになります。

最初はユニークな商品をつくることでしたが、われわれの戦略はニッチNo.1で、要素技術を組み合わせることです。メカトロニクスは、二人か三人が組むとできます。そうすると競争相手は減ります。それに赤外線の技術を加えたら日本では数人しかいないということになります。従って、クラスターや異業種とどういうふうに組むことで競合を減らしていくか、ということが非常に大事なこととなります。ニッチにしてできるだけ楽な商売をしようとしたことがよかったと思います。

●新規事業分野

滋賀県にはFMラジオ局がなかったので、関西ニュービジネス協議会のメンバーに声をかけ出資をお願いし、ラジオ局を設立しました。今年で10年になり、現状軌道にのっています。また、県内には新聞社もありませんので、地方新聞をつくりたいと思い、皆さんに出資をしていただいてと思ったのですが、これはみごと失敗をしました。

自動車産業が好調なので、当社の画像記録技術を車の安全に役立てないかと取り組んでいます。事故のときのショックを危険運転の加速度で診断することなどを手がけています。また、旧本社ビルの空き部屋をセカンドライフサロンとして、シニアの知恵を生かすビジネスマッチングの場をつくっていきたいと思っています。

●総括

事業を進めるにあたっては、売り手良し、買い手良し、世間良しの「三方良し」を理念としています。豊かさとは選択の多様性です。無用の競争はしない、独自のことをやること、リスクをいかに低減させるかがおもしろさと考えています。

行政は提案を待つのではなく、むしろ大きな目標を立てて、この指とまれとなって欲しいと思います。

【お問い合せ先】　(財)京都産業21 連携推進部 企業連携グループ　TEL:075-315-8677　FAX:075-314-4720
E-mail:renkei@ki21.jp

オムロン株式会社　広告に関する問い合せ：東京本社 広報部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 TEL：03-3436-7139　www.omron.co.jp

「それぞれの目的へ向かって　～府立医大の産学連携～」

京都府立医科大学リエゾンオフィス

京都府立医科大学は医学部の1学部のみを有する公立単科大学です。ちまたでは「大学は敷居が高い」と言われることもあり、特に医学部となるとさらに敷居が高いというイメージをお持ちの方がいらっしゃるかもしれませんが、本学において産学連携は非常に活発に行われています。ここでは今年3月に本学のすぐそばにオープンしたインキュベーション施設「クリエイション・コア京都御車」にスポットを当てて、実際に企業と連携しているそれぞれの教員に研究内容を紹介してもらいました。それでは早速、1階から順番に見ていきましょう。

◇ 1 階

生体機能分析医学講座　吉川敏一教授・内藤裕二助教授
－生体機能分析医学講座〈(株) 島津製作所寄附講座〉研究室

吉川教授、内藤助教授と（株）島津製作所は、2005年6月から寄附講座を設立し、共同研究を開始しました。このたび、クリエイション・コア京都御車内に新しい研究室を開設し、プロテオミクス解析を駆使した疾病バイオマーカーの同定を進めています。21世紀は予防医療の時代とも言われていますが、生活習慣病を予防する上で最も注目されているのが「食」の機能です。伝統的な日本食や食品科学から発見された機能成分に疾病予防効果が期待されているのです。この共同研究プロジェクトでは、血清や組織から抽出したタンパク質ならびに翻訳後修飾を受けたタンパク質を網羅的に解析することにより、予防医学研究に応用できるバイオマーカーを同定し、食品などの有効性を科学的に評価するシステムを確立することを目標に掲げています。現在、世界最高分析能とされている質量分析計（AXIMA-QIT、AXIMA-CFR）も2台設置され、タンパク質研究に特化した研究を行っています。

◇ 2 階

分子病態病理学　伏木信次教授　－（株）クレディアジャパン

産学連携のある集まりで伏木教授と（株）クレディアジャパン研究所長 池田博士が出会った折、二人が意気投合したのが今日の共同研究の発端です。（株）クレディアジャパンの持つ技術シーズである膜透過技術を医学・医療の領域でどのように応用し得るかに関して双方が繰り返し討論した結果、細胞内に目的物を導入してその機能修飾を行わせる実験系を構築すればシーズのもつポテンシャルを大きく展開できるにちがいないとの共通認識に達しました。本年3月、（株）クレディアジャパンがクリエイション・コア京都御車に入居して以来、地理的に近くなった伏木研究室とは人的交流が一層盛んとなり、共同研究の成果が上りつつあります。本共同研究の目指すところは、難治性疾患の代表とも言うべきヒト神経疾患の治療戦略の一つとしての応用展開であり、医療に革新をもたらすことが大いに期待されますが、当面は基礎的な実験系において、意図する目的を達成するためにどのような工夫が必要かを丹念に研究していきたいと思っております。

感染免疫病態制御学　今西二郎教授
－（有）統合医療企画

（有）統合医療企画は、京都府立医科大学大学院感染免疫病態制御学での研究成果を基に、事業化を図るために2003年12月に設立されました。

統合医療とは、現代西洋医学とそれ以外の医療である補完・代替医療を組み合わせて、疾患の予防、治療、健康維持・増進など図るものです。本社では、関西を中心とした医療機関に統合

医療を導入し、また、次世代型統合医療研究会を設立し、2005年度に京都府より助成金を頂いてモデル事業を構築してきました。その成果を基に、温泉地の旅館と提携したり、万博記念公園での新しい型の統合医療を導入しようとしているところです。

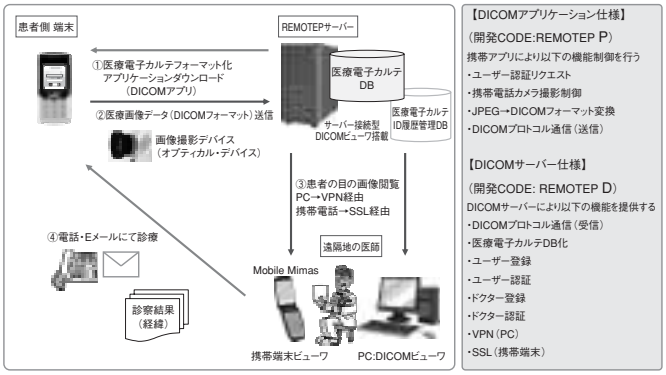
これらの統合医療に必要な要員確保のためにメディカル・アロマセラピー事業として、養成講座を開催しております。さらに、リラクセーション誘導、ストレス軽減、疲労回復を目指したさまざまな商品（食品、器具、設備など）の研究開発に関して、多くの企業と共同して取り組んでおります。

◇ 3 階

視覚機能再生外科学　木下茂教授
―サイナップス・コミュニケーションズ（株）

木下教授とサイナップス・コミュニケーションズ（株）は「次世代ユビキタス遠隔医療（REMOTEP）」の実用性を確認するためのシステム開発及び運用試験・システム検証に関する共同研究を行っております。

REMOTEPとは、携帯端末向け医療画像伝達システムであり、患者が携帯電話のカメラ機能を用いて自分の眼や皮膚の画像を撮影伝送し、医師による遠隔診断を可能にするソリューションです。



「e-Japan戦略2」にも最重要政策の一つとして盛り込まれた通り、医療のIT化は必至です。今日のめざましいカメラ付き携帯電話機能の進化、セキュリティー技術の向上に相まって、REMOTEPは携帯電話端末を用いて、いつでもどこでもだれでも平等に受けることの出来るユビキタス医療の実現を目指しております。

この共同研究ではREMOTEPを開発し、実用化することを最終目的としていますが、その概要を模式図にすると左下のとおりとなります。

心臓血管・呼吸器機能制御外科学　島田順一講師
―YANCHERS（株）

YANCHERS（株）は、LEDモジュールの応用を中心とした照明システムの企画、開発、販売をおこなうために2005年3月に設立いたしました。新世代の光源について、平成14年度文部科学省の大学発ベンチャー支援事業制度に「21世紀の照明革命」として採用されて開発を進めてきた白色LEDモジュールに関係した研究開発を発端として、「環境にやさしい」「何度でも使用可能な、リサイクルできる」「耐久性も抜群」の半導体光源を、光を取り出しやすい形状と仕組みをそなえたモジュールの形で提案してまいります。LED手術用ゴーグル、LED照明付開創器、LED提灯、などLEDの特性を活かした開発をおこなっております。現在、京都「清水寺」の秋のライトアップにおいて「和」のライトアップに挑戦しています。LEDを見る照明から、LEDで魅せる照明へ、挑戦的創造で夢を実現し、固体照明の応用で明るい未来を拓きたいと思っています。

以上のとおり、共同研究・寄附講座・大学発ベンチャーなど様々な形態で産学連携が進んでおり、ここに紹介した以外にも本学では多くの共同研究等が行われております。「府立医大と共同研究を行いたい」「大学との連携なんてやったことがないからどうしていいかわからない」「大学に相談に行きたいけどちょっと大学は近づきにくい」と思っておられる企業の方がおられましたら、お気軽にリエゾンオフィスまでご連絡ください。

【お問い合せ先】　京都府立医科大学 リエゾンオフィス
〒602−8566　京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
TEL:075-251-5208　FAX:075-211-7093
E-mail:kikaku01@koto.kpu-m.ac.jp

THE KYOTO SHINKIN BANK　地域とともに　コミュニティ・バンク　http://www.kyoto-shinkin.co.jp/

連携支援

京都信用金庫に連携支援部ができました。
中小企業がいろいろな得意な分野を相互補完することで、
大企業に負けない商品を生み出すのが「連携」です。

「こんな商品を作りたいけれど協力してくれる企業はない?」
「どこに販売したらいいの?」
「この商品のデザインを、若者に受けるデザインに変えたい。」

京都信用金庫の連携支援部は、このような新しい分野を切り開こうとする企業のために、協力できる中小企業や大学のパートナーを見つけます。

●現在、連携支援部では様々な分野で、連携・交流を進めています●

中小企業の「連携」に関するご相談をお待ちしています
京都信用金庫　連携支援部　京都市下京区四条通柳馬場東入
TEL(075)211−2111

京都産業21が設備投資を応援します!

企業が必要な設備を導入しようとされる時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

区　分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下（ただし、商業・サービス業等は、5名以下）の企業ですが、最大50名以下の方も利用可能です。	
対象設備	機械設備等（土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外）	
対象設備の金額	実績が1年以上あれば100万円～6,000万円まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内（償還期間） （ただし、法定耐用年数以内）	3～7年 （法定耐用年数に応じて）
割賦損料率及び月額リース料率	年2.50%（固定金利） （設備価格の10%の保証金が契約時に必要です）	3年2.990%　4年2.296%　5年1.868% 6年1.592%　7年1.390%
連帯保証人	一定の要件を満たす連帯保証人が必要です。	

割賦販売とリース、どちらにしますか？

それぞれの特徴をご理解のうえ、皆様に合った方をお選びください。

	割　賦	リ ー ス
所有権	・完済まで財団に所有権があり、完済すると所有権が割賦企業に移転します。	・リース期間中及びリース期間終了後においても所有権は財団にあります。（リース期間満了後は、返還するか再リースするかを選択していただきます。）
メリット	・償還は6ヶ月据え置きです。 ・設備価格相当分は減価償却ができます。また、割賦損料部分は経費処理できます。 ・償還期間が法定耐用年数以内であれば最長7年と長期であるため、月々の償還負担が軽減できます。	・リース料は経費として全額経費処理できます。（そのため、節税効果があります） ・減価償却、固定資産税、損害保険料の支払いなどは財団が負担します。（管理事務も不要） ・契約時に自己資金が不要です。
留意事項等	・契約時に保証金として設備金額の10%を納付していただきます。 ・財団を受取人とした損害保険（火災保険）をかけていただきます。（保険料は企業負担） ・割賦設備の固定資産税を負担しなければなりません。 ・維持管理費は負担していただきます。	・維持管理費は負担していただきます。 ・リース期間中は、リース設備の更新及び中途解約はできません。 ・リース期間満了後、ご希望により、原契約の1か月分のリース料で1年間の再リース契約が可能です。再リースは何回でもできます。 ・リース設備は再販可能なものに限ります。

一緒がうれしい
On Your Side

On Your Side。一緒がうれしい。
みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫
本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル
☎075(223)2525　www.chushin.co.jp

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部　市場開拓グループまでお問い合わせください。
なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。
市場開拓グループ　TEL.075-315-8590　（本情報の有効期限は10月10日までとさせていただきます）

―― 本コーナーに掲載をご希望の方は、上記市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。 ――

発注コーナー

業種No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
機−1	精密小物部品（アルミ、SUS、鉄）	汎用旋盤・汎用フライス加工	京都市上京区 1000万円 34名	汎用旋盤・汎用フライス他	1〜10／lot	話合い	近畿北陸希望	20日〆 翌20日支払、全額現金	自社にて加工できる工場を希望、運搬話合い、継続希望
機−2	自動化・省力化機械部品の切削加工・板金加工（アルミ、鉄、ステン等）		京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式	多品種小ロット（1〜100個）	話合い	近畿圏希望	月末日〆 翌月末日支払、10万円超手形120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機−3	自動化機械のAutoCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	AutoCAD	話合い	話合い	不問	月末日〆 翌月末日支払、10万円超手形120日	運搬受注側、継続取引希望
機−4	LPガス用バーナーキャップ（真鍮）	切削加工	大阪府守口市 4000万円 70名	関連設備一式	話合い	話合い	不問	20日〆 翌15日支払、手形60%120日、	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機−5	精密機械部品	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	京都北部希望	月末日〆 翌月末日支払、全額現金	運搬受注側持ち、材料支給無し、継続取引希望
機−6	精密小物部品	切削加工	京都市伏見区 500万円 18名	小物NC旋盤	10〜30個	話合い	不問	月末日〆 翌月25日支払、全額現金	運搬受注側持ち、材料支給有償、継続取引
繊−1	ウェディングドレス	裁断〜縫製〜仕上（ミシン縫製）	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10〜50着／月	話合い	不問	25日〆 翌月10日支払、全額現金	希望地域不問、パターン有り、運搬片持ち、継続取引希望、内職加工先持ち企業・特殊ミシン（メローがけ）可能企業を優遇
繊−2	ウェディングドレス	裁断〜縫製	京都市右京区 10億7159万円 230名	関連設備一式	10〜50着／月	話合い	不問	月末日〆 翌月末日支払、全額現金	継続取引希望、運搬発注側持ち
繊−3	作務衣	裁断〜縫い〜仕上〜袋詰	京都市右京区 1000万円 4名	本縫い、オーバーロック他関連設備	300〜400枚／月	@1800〜2300	不問	20日〆 翌月10日支払、全額現金	継続取引希望、運搬片持、材料無償支給
繊−4	ゆかた、ねまき（単衣用）、木綿・合成繊維	裁断〜縫製〜仕上（ミシン縫製）	京都市上京区 1000万円 8名	関連設備一式	話合い	話合い	京都・滋賀	月末日〆 翌月末日支払、全額現金	パターン有り、運搬片持ち、継続取引希望
繊−5	紳士Yシャツ	縫放し	京都市下京区 300万円 6名	関連設備一式	3〜6枚／lot	話合い	市内近郊	月25日〆 当月末日支払、全額現金	材料無償支給

受注コーナー

業種No.	加工内容	主要加工（生産）品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機−1	産業用ロボット・自動制御装置の設計〜加工〜組立〜機械配線及び制御盤		京都府久御山町 300万円 6名	半自動溶接機、汎用フライス、2.5tフォークリフト	話合い	府内	運搬可能
機−2	MC・汎用フライスによる精密機械加工（アルミ、鉄、ステン、チタン他）	半導体関連装置部品、包装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD／CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品〜量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能

機−3	精密金型設計製作、プレス加工(小物部品)中心に治工具、機械部品、板金加工等に力を入れています。	半導体関連装置部品・電機部品の精密機械加工・精密金型設計製作(アルミ、ステン、鉄、銅他)	京都府久御山町 600万円 9名	縦型MC、フライス、成形平面研削盤、自動プレス(25〜80t)、縦型スケールミル、タッピング、横型タッピングボール盤、投影機、CAD/CAM他	話合い	京都府内	経験30年。お客様のニーズを取り入れた金型の設計製作から金型の部品加工また機械加工においても全て内部で行い、お客様に提供しています。
機−4	産業用機械部品の小物MC加工(溶接対応可能)、アルミ・SUS・鉄他		京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機−5	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品の切削加工・溶接加工一式(アルミ・鉄・ステン・真鍮)		京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品〜中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工までできる。
機−6	金属部品の精密切削加工(AL、SUS、SSなど)		京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各10台	中〜大ロット	不問	高品質、高い技術、豊な人間性をモットーに、NC旋盤、マシニングセンターにより、車両・電機・機械など金属部品加工をしています
機−7	小物機械部品の旋盤加工、穴あけ加工		京都市山科区 個人 1名	旋盤6尺、卓上ボール盤	話合い	不問	継続取引希望
機−8	パーツ・フィーダ設計・製作	モートロン式フィーダ製造	京都府宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他工作機械	話合い	不問	従来のフィーダの問題点である騒音や多品種対応など、音の静かなワークにキズを付けないモートロン式パーツフィーダの製造
機−9	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全自動圧接機(15台)、半自動圧接機(30台)、アプリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試作品)〜大ロット(量産品)	不問	経験30年。国内及び海外に十数社の協力工場を含む生産拠点を持ち、お客様のニーズに応えるべく、スピーディでより低コストかつ高品質な製品の提供を心がけております。国内・海外で短納期に対応可能
機−10	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品〜小ロット	府内	経験32年。性能・ノイズ対策を考えた組立、短納期に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機−11	プリント基板実装		京都市山科区 1名	ボール盤、自動半田付け装置、リードカッター、クリーンコータ(間欠噴霧式スプレーフラクサ式)	話合い	不問	継続取引希望
機−12	金属製品塗装	紛体塗装 焼き付け塗装	京都府宇治市 1000万円 名	塗装ブース3500×3000×3600、乾燥炉2340×2500×1800、粉体塗装機、ホイスト、フォークリフト他	話合い	京都府南部地域・滋賀県	経験33年
機−13	精密機械部品の研磨加工(手研磨)		京都府久御山町 300万円 1名	フラットラッピングマシン、半自動レンズ方式	話合い	不問	継続取引希望
機−14	事務系プログラムソフト及びシステム構築	経理システム、在庫管理、商品管理、生産管理等	京都府亀岡市 個人 2名	コンピューター他関連設備	話合い	不問	メカトロ・自動機設計製作据付立上げまで一貫して対応、構内委託可能
軽−1	射出成型、直圧成型	電機、車輌、医療、精密機械、住宅等各種プラスチック	京都府久御山町 1000万円 6名	射出成型機(450t×1、300t×2、160t×2、75t×2、50t×1)、直圧成型機(100t×1、50t×2、37t×2、26t×1)	10〜、10,000〜	不問	多品種、少量生産、各種組立、特別管理産業廃棄物収集運搬
他−1	製品の広告、デザイン、販促、マーケティング等企画制作	パンフレット、カタログ、DM、会社案内、HP、広告企画	京都市中京区 1000万円 5名	コンピューター、レーザープリンタ、スキャナ、コピー他関連設備	話合い	不問	製品を顧客にうまくコミュニケートするための広告デザイン&マーケティングをご提案します。

お知らせ
Information

取引適正化無料法律相談のご案内

「代金が回収できない」「取引先が倒産した」「不良品の賠償問題」など取引先とトラブルが生じた場合、どう対処すればいいのか?法的にはどうなるのか?

京都産業21では、取引に関する法律問題や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っております。お気軽にご相談ください。

相 談 日 ● 毎月第2火曜日(13:30〜16:00)
相談場所 ● 京都産業21　会議室
お申込み ● 相談は予約制となっております。事前に下記までご連絡ください。
所定の申込書をお送りしますので、相談内容を記載の上、お申込みください。

【お申し込み・お問い合せ先】 (財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ
TEL:075-315-8590　FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

米本来の旨みを生かした個性ある純米酒づくり
招徳酒造株式会社

水運の中心で商人が行き交い、良質で豊富な地下水に恵まれたことと、米の集積地であったことから、古くから酒どころとして栄えた京都・伏見。
今回は、米の収穫時期を目前に控え、いよいよこれから本格的な酒づくりが始まる伏見の蔵元　招徳酒造株式会社 代表取締役 木村紫晃氏にお話を伺いました。

純米酒へのこだわり

清酒は、様々な種類のものが造られています。特に当社では、滋味に富んだ米と米麹と水だけで造る純米酒こそ清酒本来の姿であるとの信念の下に、昭和40年代から一貫して純米酒の復活と普及に積極的に取り組んできました。先見の明を持った蔵人達は、米本来の旨みが味わえる純米酒にこだわり続け、現在、当社における純米酒の製造比率は全体の5割を超えています。

良質で京都産にこだわった原料を用いて、社員による酒づくり

よい清酒は当然のことながらよい原料から生まれます。まず、米は、山田錦や美山錦、五百万石などの酒造好適米のほか、復活した京都産の「祝」など選び抜かれた良質の酒米を使用し、米本来の旨みを生かした呑み飽きしない酒を目指して、最新の科学技術も取り入れながら伝統手法による酒づくりを守っています。

当社では、減農薬や有機栽培による環境に配慮した米作りに取り組む綾部市や京都市右京区嵯峨越畑地区の農家と契約栽培を行っており、全体の約3割を契約農家から納めてもらっています。純米酒づくりに邁進するスタッフと真摯に米作りに取り組む人達との出会いが酒づくりへのこだわりを育み、お互いが向上しあうことでお客様に真によい酒を届ける責任に繋がっています。

次に、水。名水「伏水」と呼ばれる地下水を仕込み水にふんだんに使用、硬度の低い軟水のため、やわらかくまろやかで口当たりのよい味に仕上がります。

そして、これら良質の厳選された原料を使い、長年守り伝えてきた製法で丁寧に仕上げていきます。当社の酒づくりは、長年、丹波杜氏・糠杜氏が率いてきましたが、農村や漁村人口の減少などによる蔵人の減少や高齢化が進む中、一定の年月をかけて、社員がその技を継承し、現在では、醸造から製品化までを社員が一貫して行っています。今、現場では、若い女性社員の大塚さんが中心となって頑張っています。酒づくりの工程は非常に複雑で奥深く、特に純米酒は原料がシンプルなだけにより高度な酒造技術が要求されますが、幸いなことに、この伏見の地では、同業の蔵元との利き酒会等、情報交換も頻繁に行われています。丁寧に仕込んだ純米酒には甘辛と酸味のバランスのとれた清酒本来の旨みがあり、体にやさしく、苦労も多いですが、やりがいも感じられ、社員たちは酒造技術の向上を目指し、日々生き生きと励んでいます。

木村代表取締役（右）と大塚さん

販売のチャンネルを増やし、京都の特産品を使った新商品開発

消費者の嗜好の多様化等により、清酒も数多い酒類の中にあって、ワインや焼酎等と同様に、その時々に合わせて選ぶ選択肢の一つ（ワンチョイス）となり、清酒業界は厳しい環境におかれています。加えて、酒類販売免許の完全自由化で価格競争が激化、「まちの酒屋さん」（専門店）は独自の品揃えやサービス等これまで以上に個性化が求められています。専門店への販売はもちろんのこと、今後、これまで以上に量販店への販売も不可欠で、従来の主要購買層である年配者はもとより、若い世代・女性等にもアピールし、店頭で手にとってもらえるよう、商品のパッケージデザイン等にもこだわった商品づくりを鋭意進めています。

また、通常、清酒は、数か月から1年ほど貯蔵熟成させてから出荷するのが普通ですが、最近は、若い世代を中心に新酒が好まれる傾向が見受けられます。当社では、府内各地の特産品と純米酒をブレンドしたリキュール（綾部産の梅エキスを使った梅リキュール、京都市右京区嵯峨越畑産の柚子果汁を使った柚子リキュールなど）を昨年から本格的に製造・販売しており、大変好評で、今後の新分野商品として大いに期待しているところです。

新商品のアイデアも契約農家とのコミュニケーションから生まれました。酒づくり仲間としての信頼関係を大切に、おいしさを追求、小さな蔵元であることの利点を最大限に発揮して、これからも高付加価値の個性豊かな純米酒づくりに邁進していきたいと考えています。

DATA

招 徳 酒 造 株 式 会 社
代表取締役 木村 紫晃 氏

所 在 地	〒612-8338　京都市伏見区舞台町16
設　　立	昭和20年7月
資 本 金	27,950千円
従 業 員	11名
事業内容	清酒製造業
T E L	075-611-0296
F A X	075-611-0298
U R L	http://www.shoutoku.co.jp/

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
企画情報室 情報・調査担当
TEL:075-315-9506　FAX:075-315-1551
E-mail:joho@mtc.pref.kyoto.lg.jp

ISO14001セミナーから（平成18年7月3日開催）

ISO14001は発行後10年を経過し、認証取得後期間を経過した企業では形骸化の問題も指摘されてきつつあります。新たな視点でのISOに基づく企業の環境活動の活性化は、規格の維持管理に取り組む企業のみならず新規取得を目指す企業にとっても共通の課題となっています。今回は、R"E"DO主宰　冷泉為弘氏を講師にお招きして、「ISO14001活性化の工夫」～紙・ごみ・電気から製品・サービスへの転換～というテーマでセミナーを開催しました。ポイントとなる考え方は次のとおりです。

環境問題の棚卸による活性化（トップと環境管理責任者への提言）

○ **環境戦略の確立と改革への決意**

・環境改善は現代社会の根底にある課題。
・社会的責任からも必須の取組み。
（他にも優先する経営課題ありではなく、同時進行系の課題。）
・組織存続と発展の条件。
　○社内体制、活動、製品及びサービスを「環境」の視点で棚卸する。
　○棚卸能力は、組織内の力量のある人材の質と量で決まる。
　○棚卸の主眼は「ユーザビリティ製品とサービスの提供」。
（モノ+シゴト指向で、安全、快適、使いやすさ、資源生産性、……、品質）

マネジメント面からの活性化（環境管理責任者と事務局への提言）

○ **棚卸結果をベースに、的確なアクションプランの策定**

（主としてEMSの計画段階の活性化が大切）
・何に取り組むかについて、創意と英知を結集する枠組みの再確認。（4.2）
・環境側面を些少特定していないかの再確認。（4.3.1）
・目的、目標の設定を安易にしていないかの再確認。（4.3.3）
・目的、目標にトップが意欲的な関与をしているか否かの再確認。（4.3.3）
・上記を含め、経営計画・市場戦略、社会的責任などに対応した組織体制の再確認。（4.4.1）

推進の原則（事務局と推進リーダへの提言）

○ **旗振り、後押し、先導役に徹する**

（原則の的確な行使）
・客観化の原則（全体ストーリー／中長期計画の具体化）
・数値化の原則（達成目標の数値化／健全さの訴求）
・比較化の原則（よさと悪さ、メリットとデメリットなど）
・反省化の原則（規格のプロセスと組織のマトリックス化において）

推進の主体（部門長への提言）

○ **自部門の環境改善のリーダシップは部門長自らが**

・管理監督者はグル-プに対して、ハートと知識と知恵を惜しまない。
・理解と関心を全面に出して、現場としてやらなければならないという強い意志を示す。
・要員の欲求を満たす実施計画を出す。
・自主性を尊重しつつ、制約条件は明確に示す。

行動計画面からの活性化（すべてのコアメンバへの提言）

○ **目標と手段に関しては「選択と集中」が大切**

・目標はストレッチに。
・新しい、選りすぐれた、過去の延長線以外の手段を駆使した目標の設定。
・目標は地球、地域、顧客の視点からの妥当性を考慮する。
・指標は「組織の顔」に相当する。したがって5EE（環境効率）をよく検討する。
（エネルギー／資源生産性:リサイクル、リデュース・リユースなど／無害性:危険物、安全性など／持続性:耐久性、修理容易性・機能拡充性など／同一効用の代替性）

これらの視点を加味したEMSの再構築が活性化につながるといえ、以下についても試案が提示されました。

① 組織のEMSレベル判断の試案
② エコファクトリー、エコマーケティング、エコプロダクトへの取組みの試案
③ 活性化のための手順の試案

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
基盤技術室 化学・環境担当
TEL:075-315-8633　FAX:075-315-9497
E-mail:kankyo@mtc.pref.kyoto.lg.jp

けいはんな技術交流会の紹介

京都府南部地域には科学技術立国と文化立国を目指して誕生した世界に開かれた関西文化学術研究都市があり、企業の研究機関が活動し、新技術・新産業を創出する都市としての発展が期待されています。しかし、市場構造のグローバル化や世界規模での競争が急進展する今日、基幹産業である製造業は優れた経験と実績を持ちながらも産業の空洞化という厳しい状況に置かれ、現状を打開するために他企業と連携して国際競争力のある新たな産業分野の開拓や、新技術・新製品の開発が求められていると当センターでは考えています。

そこで、けいはんな地区に立地する大手企業研究所と交流の機会を持ち、共有できる技術を通じて人的ネットワークを形成することで、企業間の共同研究・開発に発展する場を提供し、活力ある創造的な企業群を形成するために、「けいはんな技術交流会」を開催しています。平成18年度の第1回目（通算19回目）を6月20日（火）に府内中核企業である株式会社 島津製作所基盤技術研究所において実施し、企業研究員の方と地元企業との技術交流会を開催しましたので、その概要をご紹介します。

けいはんな発の技術展開のイメージ図

講演中の小関主幹研究員

講演タイトル:「見えないものを“みる”基礎技術の紹介」
講　演　者:株式会社 島津製作所基盤技術研究所 主幹研究員 小関 英一 氏

基盤技術研究所は、ナノテクノロジー対応の新規計測・分析技術とキーコンポーネントとなる要素デバイスの研究開発を重点方針として掲げておられ、技術テーマとして、①電子・X線、②質量分析、③光、④MEMS・μTAS、⑤画像処理、⑥分子イメージング、⑦新規技術の探索の7分野について説明がありました。

次世代医療分野では、再生医療、オーダメード医療、粒子線治療法などを支える分子イメージングの基礎技術である①生体計測技術、②分析計測技術、③分子プローブ技術を中心に開発を行っておられます。また、最近、実用化された製品として、17インチ直接変換方式X線画像検出器FPD（フラットパネルディテクタ）が紹介されました。従来製品より①広範囲の即時性、②精細性、③低被爆、③機器メンテナンスの容易性を向上させることができるとのことです。

その後、基盤技術研究所からの技術開発成果品について見学を行った後、講演参加企業（10社）による“自社の得意技術”についてのショートプレゼンを実施しました。

けいはんな技術交流会は、今後、今年度中に3回程度開催する予定です。府内企業の皆様のご参加をお待ちしています。

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
けいはんな分室
TEL:0774-95-5027　FAX:0774-98-2202
E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp

小規模映像制作業者の為のハイビジョン化技術に関する研究

産学公連携推進室 産業デザイン担当　松井洋泰、福岡 崇

1 はじめに

2011年を目途に、完全な放送のデジタル化が実施されます。一般家庭でのTV受像機のハイビジョン化に伴い、映像制作を手がける比較的小規模の（主に各種発表会、催事記録、ブライダル映像等が制作の中心を占める）事業者においても今後、映像コンテンツのハイビジョン化が早急に必要となってくると想定されます。

しかし、実際に地方放送局などが直面している（1局あたり数十億円の投資が必要と言われている）高額なコストや見通しも立ちにくいハイビジョン化の設備投資が、大手放送、映画業界のように簡単にはできない中小の映像制作業者もかなり多いと考えられます。それらを解決するための最新のコンピュータ技術や小型民生デジタル機器等を活用した、少ない投資で実現できるハイビジョン化技術をテーマとして17年度に研究を実施しました。

2 実験方法、調査結果及び考察

（1）放送用と民生用デジタル機器のハイビジョン制作技術に関する調査と研究

放送用、民生用を含め制作用のハイビジョン方式（解像度、フレームレート）は、現在「1080/60i（59.94i）」が主に放送の現場で、「1080/24p（23.98p）」は映画制作において、「1080/50i」はPAL圏、「720/24p」は比較的規模の小さなフィルム系で使用されています。

最近、小型機器の開発、普及とともに民生用のハイビジョン規格「HDV」が徐々に現場で利用され始めています。HDV方式はデジタル放送で使用されている信号方式に非常に近く、媒体にDVテープを使用することでレコーダ部分の共通部品を再活用し機器の低価格化を実現しています。

開発当初は民生用として登場した「HDV」ですが、映像関係の技術者が期待していた以上に高画質であり、合わせて小型化が急速に進んだこと等から現在は放送やCM制作現場でもその活用が顕著となっています。ある放送関係者が現場使用する理由として「現状ではSD（従来の4:3）の高価な機材で撮影しアップコンバート（映像画素の拡大処理）するよりも、例え、民生機（HDV）であってもハイビジョンカメラで撮影した方が、最終的に画面（ハイビジョン放送）で見た場合、明らかにコンテンツの印象が良い」という意見を述べていましたが、小規模な映像制作現場でもその条件は恐らく同様であると考えられ、また参考にするべきかもしれません。

（2）コンピュータ技術を活用した制作、編集システムに関する研究

HDVを中心とした比較的低価格なノンリニア編集システムの傾向としては、画像の劣化が少なく実画像の確認がしやすく、また変換時間のかからない「HDV方式（ネイティブ）のままの処理」が現在の技術トレンドとなっています。さらに業務用として考えた場合「IEEE1394」だけでなく「HD-SDI」のインターフェイスが必要な場合についても、プラス数十万円レベルの価格帯で対応でき、パソコンベースの低価格ハイビジョン編集は、とりあえず「業務使用にも耐えるノンリニア編集システム」として、構築可能なレベルまで来つつあります。ただし、推奨のハードウェア（実質的には現状の最高速、デュアルモデル以上）を使用しないと、編集に必要な最低限度のパフォーマンスが得られず、本来の作業に支障をきたす場合が多いと考えられます。

また逆に、HDV方式のカメラからの収録が主であっても、納品がHDCAM等に限られる場合は、圧縮方式の変換後に、「HD-SDI」出力を前提として編集作業をする方法が良いと思われます。その際、入出力時の画像品質、編集動作の高速化等に関しては、別途、大規模なシステムとの連動やコストパフォーマンスを含めた検証が必要です。

（3）ハイビジョン映像の供給技術に関する調査と検証

次世代の供給メディア（ディスク）としては、「HD　DVD-Video」と「ブルーレイディスク（Blu-ray　Disk）」が対抗する規格として比較紹介されることが多く、もちろん両者の物理的なディスク規格は異なりますが、コピープロテクトはAACS、映像はMPEG2-HD,MPEG4　AVC（H264）,VC1、音声はDolby　Digital+,DTS-HD,LPCM,TrueHDと、使用されるオプションを含めた素材データは共通であることが調査の結果わかりました。

なお、現時点（平成18年3月末現在）でのディスク制作（オーサリング、エンコーディング）環境ですが、プレス（量産ROM）ディスク制作は、仕様策定の遅れ等から一部のメーカーやテストベンダーを除き現状では、いまだ実質的な制作作業は困難という状況にあり、平成18年春～夏以降に、「スタンダードナビゲーション」に限り、市販のオーサリングシステムの購入により実際に構築可能になる予定であることが調査の結果確認できました。HDレベルのエンコードは、現状では低価格なソフトウェア方式が中心と考えた方が良く、（必要時間は、VC1、MPEG4　AVC（H264）はHDの場合、実時間の10～25倍程度かかる）また逆に、ディスク容量自体に余裕がある場合は、エンコード後の検証も含め、MPEG2-HDを使用した方が比較的制作しやすい環境であると言えます。

さらに少量納品用ディスクに関してはBlu-ray Diskに限りHDV方式の応用で対応できることも確認しました。

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
産学公連携推進室 産業デザイン担当
TEL:075-315-8636　FAX:075-315-9497
E-mail:design@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成17年度委託研究
加熱による異種食品タンパク質間の相互作用と新規食品タンパク質素材の開発

京都大学大学院農学研究科　教授　北畠直文

食品におけるタンパク質は栄養素としての機能のみならず、食品に固有の物性や構造を与える役割を担っています。食品タンパク質を加熱すると構造変化を起こし、いわゆる変性が生じます。この変性に伴って、タンパク質分子の分子間の相互作用が生じて、分子凝集体が形成されます。この分子間相互作用は、同一分子種だけではなく、異種タンパク質分子間でも生じる可能性があります。

また、疎水的相互作用や水素結合などの非共有結合ばかりではなく、ジスルフィド結合のような共有結合による異種タンパク質分子間結合が生じる可能性があり、得られた安定な複合体は、新たな特性を持っているものと思われます。そこで、異種の食品タンパク質の結合条件等を明らかにし、異種食品タンパク質が結合した新規食品タンパク質素材の開発を試みました。

タンパク質分子

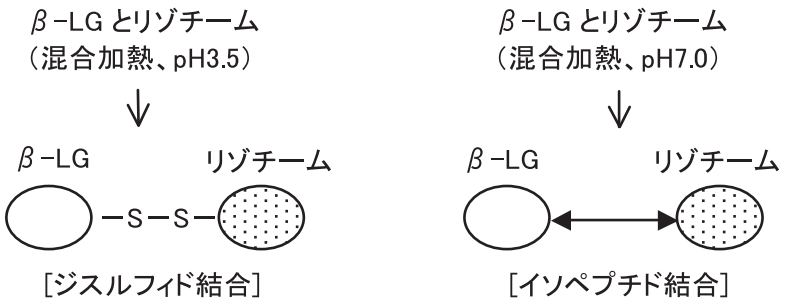
牛乳乳清タンパク質の主要成分であるβラクトグロブリン（β-LG）と卵白タンパク質の一つであるリゾチームを用いて、これらの異種タンパク質分子間において分子複合体の形成について検討しました。

その結果、

①酸性条件において、β-LGとリゾチームのS-S交換反応が観察されました。すなわち、pH3.5の条件下でβ-LGとリゾチームを混合加熱すると、β-LGとリゾチームの分子間でS-S交換反応が起こり、分子間ジスルフィド結合によるヘテロ二量体を形成することが判明しました。通常、酸性条件では上記の反応は起こりにくいと考えられますが、リゾチーム分子の微小領域内において塩基性に富んだ環境が形成されるため、溶液は酸性であってもS-S交換反応が起こったのではないかと推察しました。つまり、熱変性によってリゾチーム分子内のシスチン残基の周辺がリジン残基などの塩基性アミノ酸残基に取り囲まれた構造をとっていると推測されます。

②中性pH条件下においては、酸性条件下における結果とは異なり、ジスルフィド結合による両分子間の結合は見出されず、β-LGとリゾチームはイソペプチド結合によってヘテロダイマーを形成していることが明らかになりました。

これらの反応は分子レベルでの異なるタンパク質分子の強固な融合体の形成を意味し、食品タンパク質において、新たな機能性をもつ素材開発の可能性を示します。



【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
応用技術室 食品・バイオ担当
TEL:075-315-8634　FAX:075-315-9497
E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp

鋳造シミュレーションについて

1　まえがき

鋳物の製品形状寸法は図面により指定されますが、これを鋳物とするためには図1のように湯口、湯道、押湯等が必要で、これらの寸法、配置が適正でないと鋳造欠陥になります。従来は長年の現場における技術の経験、蓄積と試行錯誤により、この鋳物設計（鋳造方案とも言われます。）が決められましたが、これをコンピュータシミュレーションにより、実際の鋳造の様子を現出させ、湯流れ・凝固解析を行い、鋳造欠陥の有無について検討するのが鋳造C.A.E.（Computer Aided Engineering）システムです。これにより適切な鋳物設計を短期間かつ低コストに決めることができます。現在ではIT技術の進展とも関連してかなり実用化され、市販ソフトが鋳造シミュレーションシステムとして販売されています。また、3次元CADシステム等と関連させたいわゆるS．E.（サイマルティニアス（同時の）・エンジニアリング）の一環として取り扱われています。シミュレーションは以下2項～4項の3次元形状の要素分割、湯流れ解析、凝固解析の3段階の内容に分かれます。

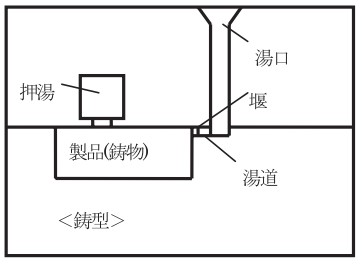


図1　鋳物における押湯等の概略図

2　3次元形状の要素分割法

鋳物の3次元形状を認識させるために、その複雑な形状を細かくメッシュ状に分割します。その方法としては直交分割による差分法と非直交分割である有限要素法があります。差分法では鋳型と鋳物の界面形状が階段状となり、特に湯流れ解析の場合に悪影響を及ぼします。しかし、有限要素法では分割作業が難しくなります。国内ソフトは差分法が多いのが現状です。

3　湯流れ解析

非圧縮性流体として仮定した自由表面の流れとして質量、運動量、エネルギー保存則により非定常流動解析を行います。湯流れに起因する鋳造不良である湯じわ、介在物、空気の巻き込み等の予測が可能になります。凝固解析と比べてまだ高精度でないとのことです。

4　凝固解析

非定常熱伝導計算により、温度、凝固状況から閉塞的な凝固遅れ部位としての引け巣を予測します。初期温度として上記湯流れ解析の結果を用います。また、球状黒鉛鋳鉄鋳物では黒鉛化膨張によるザク巣が問題になりますが、この場合は内部応力を計算し、ある一定の応力値以上の部位を引け巣としているものもあります。

5　実際の解析例

図2は一例として、エグゾースト・マニホールド鋳物（自動車等の多気筒排ガスを一本にする管）における注湯中の一定経過した流速ベクトル図及び温度分布図です。ポストプロレッサーとして、このような図がディスプレイ上に、時間とともにアニメーション的に表示されます。

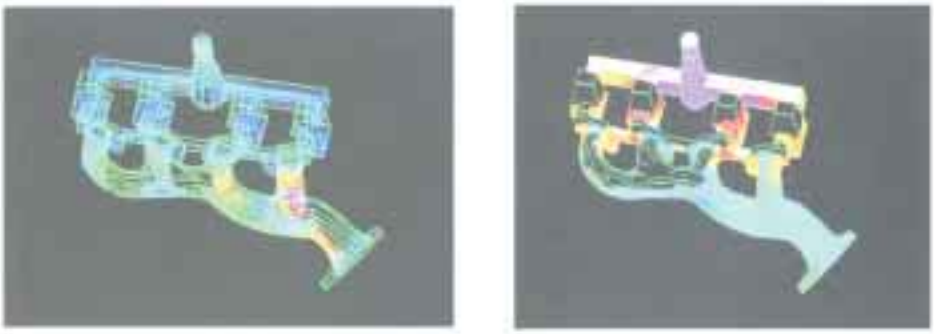


図2　エグゾースト・マニホールドの流速ベクトル及びその時の温度分布
（日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社　ホームページより）

6　今後の課題

鋳物の凝固に関する現象は非常に複雑で、現状では、結晶成長の問題、ガス発生、鋳型壁移動による熱伝達係数の変化等をどのようにシミュレーションで現すか、まだ未解明です。また、実際の合金におけるより正確な物性値等一層の技術向上が必要となっています。

＜参考文献＞
大塚幸男他:素形材47巻（2006）2月号1「鋳造CAEを利用した欠陥対策と歩留向上」

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
基盤技術室 材料・機能評価担当
TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

最近の経済指標 －全国と京都府の動き－（平成18年4月～）

～微妙な揺れはあるものの、景気は堅調に推移している。雇用形態が多様化しており、全体としては所得の改善や消費回復には至っていない～

輸出が堅調に推移、設備投資は、月ごとの変動はあるものの拡大傾向です。製造業を中心に好調ですが、企業間格差がみられます。雇用形態の多様化により、所得の伸びが軟調なことから、消費動向は踊場状況です。原油をはじめとした工業原材料の価格上昇が景気のボトルネックになっています。4月以降も依然として倒産件数は高水準で推移しています。

＜概況＞

●消費動向…家計消費支出（全国・全世帯・実質）は、1～6月と6か月連続で前年同月比マイナスを示しています。百貨店売上高は、京都では、4～6月とプラスを示していますが、全国では4～5月はマイナスを示しています。基調としては天候に売上動向が大きく左右される弱含みの地合です。ここに来て、消費者動向の的確な分析が難しくなってきています。乗用車新車販売台数は、年明けから動意が感じられましたが、原油価格急騰により心理的圧迫がかかり、厳しさがみられます。新設住宅着工戸数は、全国、京都とも概ね堅調に推移しています。消費動向を示す指標には、一部に明るさはみられるものの総じて変動が激しく、小売業種にとって積極的な販売戦略を立てにくい状況が続いています。

●設備投資…船舶・電力を除く民需の機械受注額（全国）は、4月は好調、5月はやや軟調となっています。昨年5月以来1兆円の大台を維持しており、景気回復を牽引してきた設備投資は指標上安定しています。ここにおいて、原油、金属を始めとする原材料の相場動向が、受注動向の撹乱要因となっています。

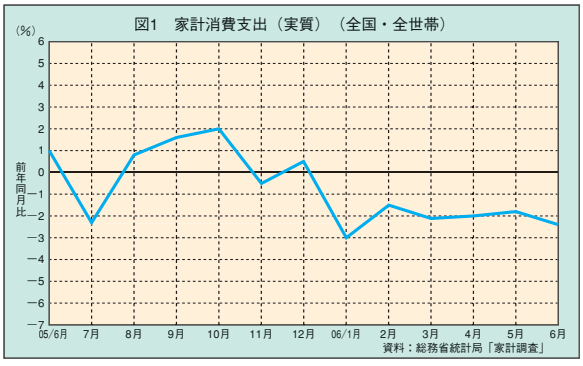
●鉱工業生産…輸出は、昨年11月以降、着実に伸び、好調です。全国の産業用大口電力消費は、昨年8月以降連続して前年同月を上回っています。全国の鉱工業生産指数は昨年8月以降、多少の変動はあるものの100を上回っています。全国の製造業の所定外労働時間指数は、昨年10月から今年4月を除き前年同月比プラスを続けています。全国の鉱工業生産に関する経済指標は、2月頃に若干の足踏みもみられましたが、昨秋以降は堅調に推移しています。京都府内の指数についても、若干のブレはあるものの全国的な傾向に追随しています。

●雇用動向…有効求人倍率は、12月には全国、京都ともに1.00以上に回復しましたが、京都では2月以降は1を割り込み、5月に回復、全国でも3月に低下しています。正規雇用の求人が増えないなど雇用構造の変化が影を落としています。完全失業率は低下傾向にあり、2～4月は4.1%、5月4.0%、6月4.2%となっています。

●物価動向…企業物価は平成16年3月以降、28か月連続で前年比プラスとなり、6月には前年同月比3.5%と大きく伸びています。生鮮食品を除く消費者物価は、全国、京都とも、昨秋に前年比マイナスを脱しましたが、京都では2月以降は3か月連続してマイナスとなるなどデフレ完全脱却とはまだまだいえない状況です。

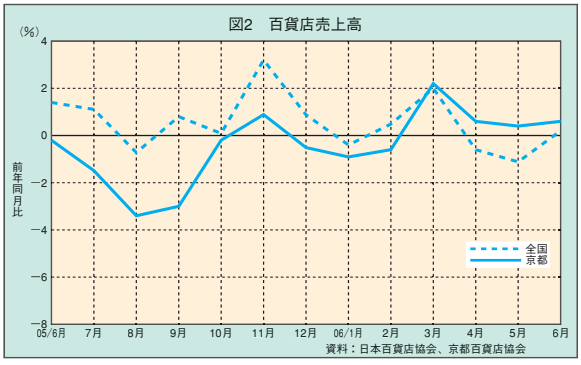
●企業倒産…4～6月については、件数は依然として高水準ですが1件あたりの負債額は比較的少額です。全国的には減少傾向なので、京都の産業構造的な問題が伺え、予断を許せない状況です。

図1　家計消費支出（実質）（全国・全世帯）



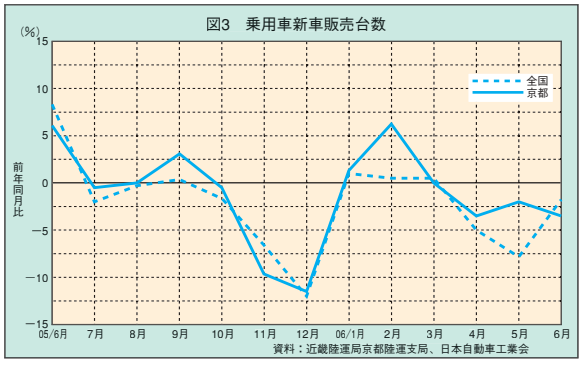
資料：総務省統計局「家計調査」

図2　百貨店売上高

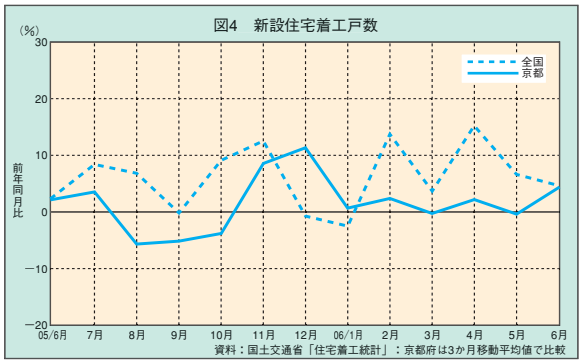


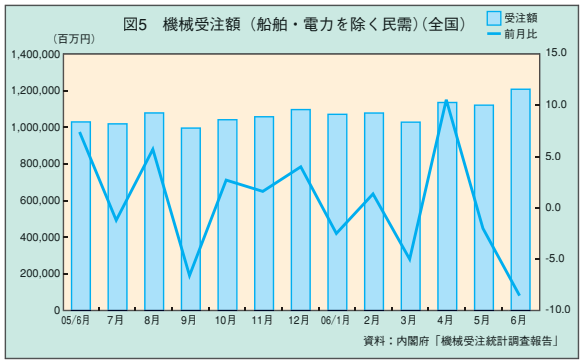
資料：日本百貨店協会、京都百貨店協会

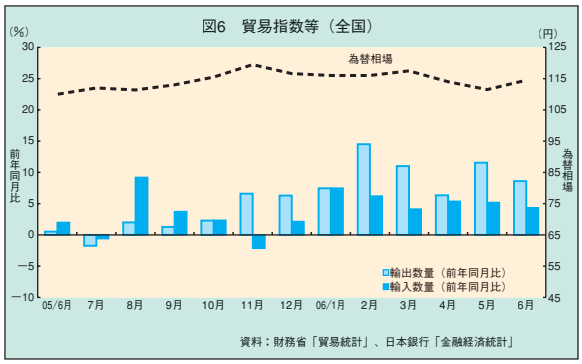
図3　乗用車新車販売台数

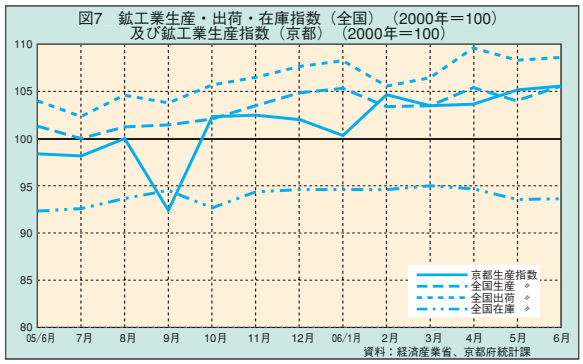


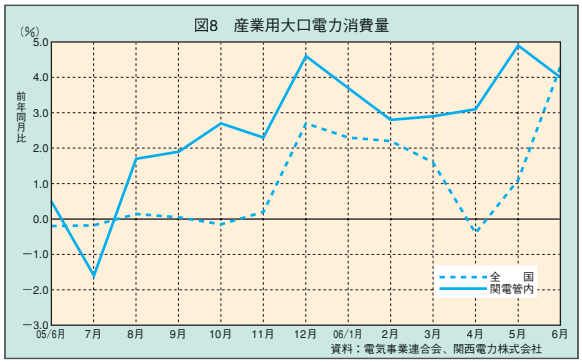
資料：近畿陸運局京都陸運支局、日本自動車工業会

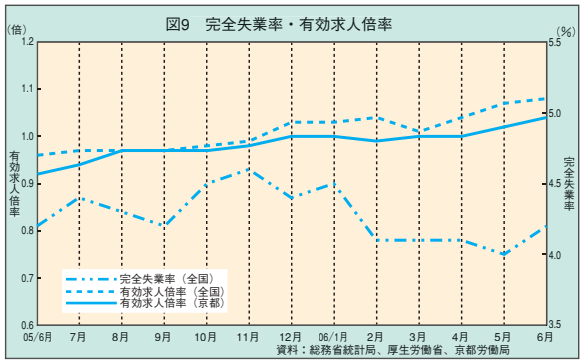


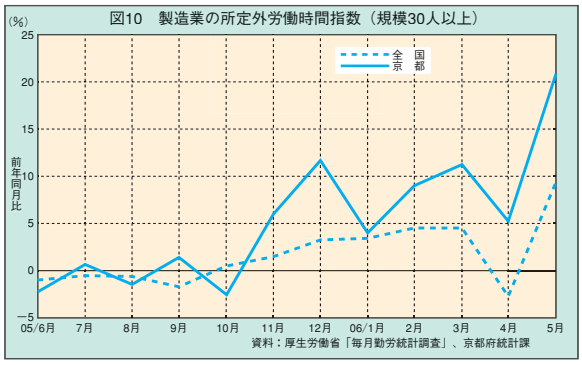


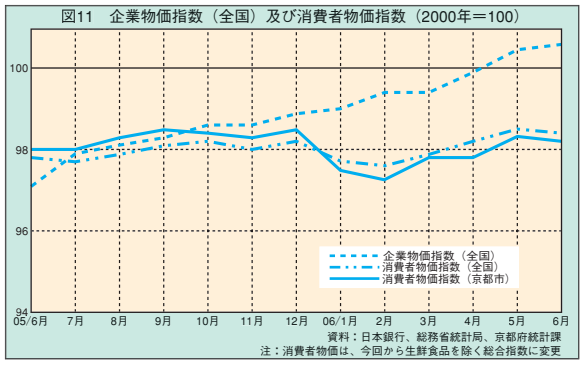


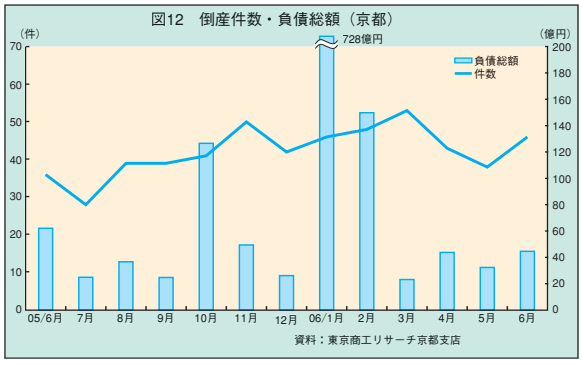


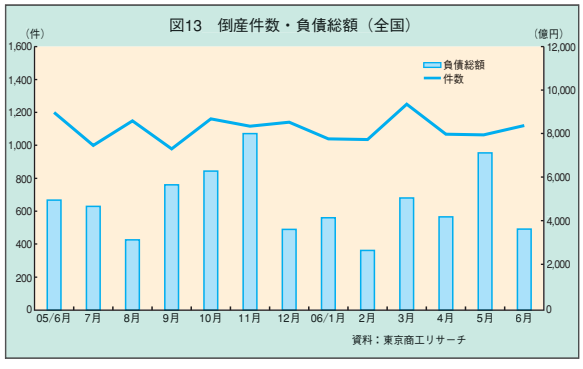












※ 経済指標の詳細データは、http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/ce_press/no_015/economic_indicators.htmに掲載しています。

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
企画情報室 情報・調査担当
TEL:075-315-9506　FAX:075-315-1551
E-mail:joho@mtc.pref.kyoto.lg.jp

行事予定表
Event Schedule

お問い合せ先：財団法人 京都産業21 主催　京都府中小企業技術センター 主催

September 2006.9.

11（月）
- 3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAD・ソリッド）
  時間：13:30～16:00
  場所：京都府産業支援センター1F
- ライフサイエンス研究会（KIIC会員交流事業）
  時間：15:00～17:00
  場所：京都府産業支援センター2F

12（火）
- 3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAD・サーフェス）
  時間：13:30～16:00
  場所：京都府産業支援センター1F
- マーケティング研究会（KIIC）
  時間：16:00～21:00
  場所：京都府産業支援センター2F

13（水）
- 3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAM・CaelumKKen）
  時間：13:30～16:00
  場所：京都府産業支援センター1F
- 京都陶磁器釉薬研究会
  時間：15:00～16:30
  場所：京都府産業支援センター5F

14（木）
- 京都品質工学研究会
  時間：10:00～16:00
  場所：京都府産業支援センター5F
- 3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAM・WorkNC）
  時間：13:30～16:00
  場所：京都府産業支援センター1F

15（金）
- 3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAE）
  時間：13:30～16:00
  場所：京都府産業支援センター1F
- 生産改善倶楽部（KIIC）
  時間：18:00～20:00
  場所：京都府産業支援センター2F

19（火）
- 「採用プレゼン」スキルアップセミナー（南部コース）
  時間：13:00～17:00
  場所：宇治市産業振興センター

21（木）
- けいはんな知的財産フォーラム
  時間：11:00～17:00
  場所：けいはんなプラザ・ナイル

22（金）
- 京都府中小企業技術センター 研究・調査成果発表会
  時間：10:00～17:00
  場所：京都府産業支援センター5Fほか
- 「採用プレゼン」スキルアップセミナー（京都市内コース）
  時間：13:00～17:00
  場所：ぱ・る・るプラザ
- 夢現の会（KIIC）
  時間：18:30～21:00
  場所：京都経済倶楽部

26（火）
- プロモ倶楽部（KIIC）
  時間：16:00～18:00
  場所：京都府産業支援センター2F

27（水）
- 第2回新素材・加工技術セミナー
  時間：14:00～17:00
  場所：（財）近畿地方発明センター

27（水）
- e-ビジネス研究会（KIIC）
  時間：16:00～18:00
  場所：京都府産業支援センター2F
- きょうとWEBショップ研究会（KIIC）
  時間：18:00～20:00
  場所：京都府産業支援センター2F

30（土）
- 起業家フォーラム2006
  時間：13:30～16:00
  場所：京都リサーチパーク1号館4F

October 2006.10.

3（火）
- 「採用プレゼン」スキルアップセミナー（南部コース）
  時間：13:00～17:00
  場所：宇治市産業振興センター

5（木）
- 山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部 設立記念意見交換会
  時間：14:00～
  場所：宇治市産業振興センター

6（金）
- 京都品質工学研究会（関西地区品質工学シンポジウム）
  時間：10:00～17:10
  場所：キャンパスプラザ京都
- 「採用プレゼン」スキルアップセミナー（京都市内コース）
  時間：13:00～17:00
  場所：ぱ・る・るプラザ
- 生産改善倶楽部（KIIC）
  時間：18:00～20:00
  場所：京都府産業支援センター2F

11（水）
- 山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部 第1回テーマ研究会「市場調査」
  時間：13:00～
  場所：宇治市産業振興センター
- 第1回中小企業中堅管理者研修「経営における中堅管理者の役割」
  時間：18:30～
  場所：丹後地域職業訓練センター2F

18（水）
- 第2回中小企業中堅管理者研修「課題設定の考え方と手法」
  時間：18:30～
  場所：丹後地域職業訓練センター2F

25（水）
- 山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部 第2回テーマ研究会「新製品開発」
  時間：13:00～
  場所：宇治市産業振興センター
- 第3回中小企業中堅管理者研修「課題設定の為のコーチング」
  時間：18:30～
  場所：丹後地域職業訓練センター2F

26（木）
- 異業種京都まつり
  時間：10:30～16:30
  場所：京都全日空ホテル

31（火）
- e-ビジネス研究会（KIIC）
  時間：16:00～18:00
  場所：京都府産業支援センター2F
- きょうとWEBショップ研究会（KIIC）
  時間：18:00～20:00
  場所：京都府産業支援センター2F

専門家特別相談日
（毎週木曜日　13:00～16:00）

○申込は、事前に相談内容を（財）京都産業21　お客様相談室までご連絡ください。
TEL 075-315-8660　FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日
（毎月第二火曜日　13:30～16:00）

○申込は、事前に相談内容を（財）京都産業21　事業推進部　市場開拓グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590　FAX 075-323-5211

海外ビジネス特別相談日
（毎週木曜日　13:00～17:00）

○申込は、事前に相談内容を（財）京都産業21　海外ビジネス・チャレンジネットワークまでご連絡ください。
TEL 075-325-2075　FAX 075-325-2075

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」（無料）をご活用ください！

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆様の情報源として是非ご活用ください。
ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。▶ http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get_mtnews.htm

これからの日本を考える基礎になります。
10月1日事業所・企業統計調査を実施します。

9月下旬から各事業所に
調査員がお伺いします。

事業所・企業統計調査は、国の最も基本的な統計調査として、日本の事業所や企業の実態を明らかにするために行われます。商店や工場、営業所、事務所、銀行、学校、旅館、病院、神社、お寺など、全国すべての事業所が対象になります。
調査票の配付及び回収は調査員が行います。調査員には法律により調査票の記入内容についての守秘義務があり、また調査票は統計を作る目的だけに使用されます。

総務省統計局・京都府・市町村

平成18年 事業所・企業統計調査

―― 知ろう　守ろう　考えよう　みんなの人権！ ――

京都府産業支援センター http://kyoto-isc.jp/　〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 http://www.ki21.jp/
代表　TEL 075-315-9234　FAX 075-315-9240
けいはんな支所　〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7（けいはんなプラザ ラボ棟）
TEL 0774-95-5028　FAX 0774-98-2202
北部支所　〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139-1（京都府織物・機械金属振興センター内）
TEL 0772-69-3675　FAX 0772-69-3880

京都府中小企業技術センター http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/
代表　TEL 075-315-2811　FAX 075-315-1551
けいはんな分室　〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7（けいはんなプラザ ラボ棟）
TEL 0774-95-5027　FAX 0774-98-2202

編集協力／ショウワドウ・イープレス株式会社

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています